

INTERPRETATION SERVICE SYSTEM, METHOD FOR INTERPRETATION SERVICE, AND INTERPRETATION SERVICE PROGRAM

Publication number: JP2002237897

Publication date: 2002-08-23

Inventor: HATA CHIE

Applicant: HATA CHIE

Classification:

- international: G06F17/28; H04M3/42; H04M3/493; H04M3/60; H04M15/00; G06F17/28; H04M3/42; H04M3/487; H04M3/60; H04M15/00; (IPC1-7): H04M3/60; G06F17/28; G06F17/60; H04M3/42; H04M3/493; H04M15/00

- european:

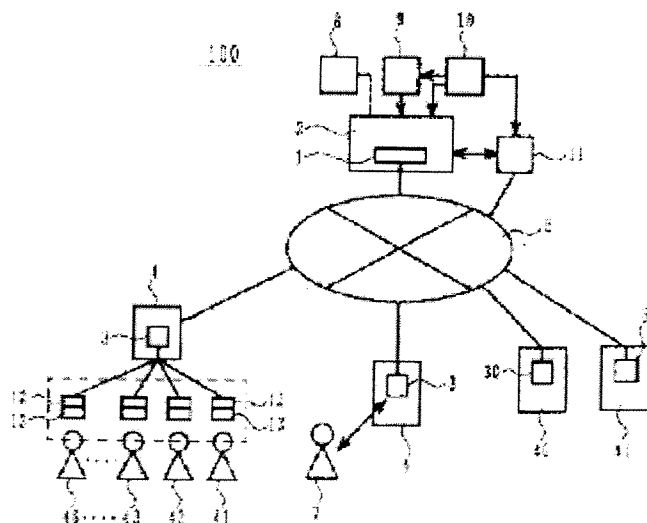
Application number: JP20010035336 20010213

Priority number(s): JP20010035336 20010213

Report a data error here

Abstract of JP2002237897

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an interpretation service system or method for interpretation service which can provide interpretation service without any limitations on location or time and which is easy to use and can provide immediate service. **SOLUTION:** In a communication system, a business entity 2 which provides services including interpretation of information inputted in a first language into a specified second language or inverse interpretation, and a user 4 which desires to obtain interpretation service are so located as to be connected to each other via a communication line 5. In the interpretation service system, the user 4 has access to the business entity 2 and transmits the information that the user needs translation for, and the business entity 2 then translates the information which needs translation into a second language specified by the user 4 in a short time and transmits the translated information to a communication information terminal 3 owned by the user 4 via the communication line 5. The user 4 then makes a third party 7 who understands the second language use one's own communication information terminal 3 to listen to the translated information.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-237897
(P2002-237897A)

(43) 公開日 平成14年8月23日 (2002.8.23)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	タームコード [*] (参考)
H 0 4 M 3/60		H 0 4 M 3/60	J 5 B 0 9 1
G 0 6 F 17/28		G 0 6 F 17/28	Z 5 K 0 1 5
17/60	1 2 4	17/60	1 2 4 5 K 0 2 4
H 0 4 M 3/42		H 0 4 M 3/42	Z 5 K 0 2 5
3/493		3/493	

審査請求 有 請求項の数24 O L (全 14 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-35336(P2001-35336)

(22) 出願日 平成13年2月13日 (2001.2.13)

(71) 出願人 501060275

畑 千絵

茨城県つくば市花畑1丁目10番45 ルーミ
一花畑25-102

(72) 発明者 畑 千絵

茨城県つくば市花畑1丁目10番45 ルーミ
一花畑25-102

(74) 代理人 100071755

弁理士 斉藤 武彦 (外1名)

Fターム(参考) 5B091 AA03 CD03

5K015 AA07 AB04 AF05 JA00

5K024 AA52 CC01 CC09 CC11 CC14

DD01

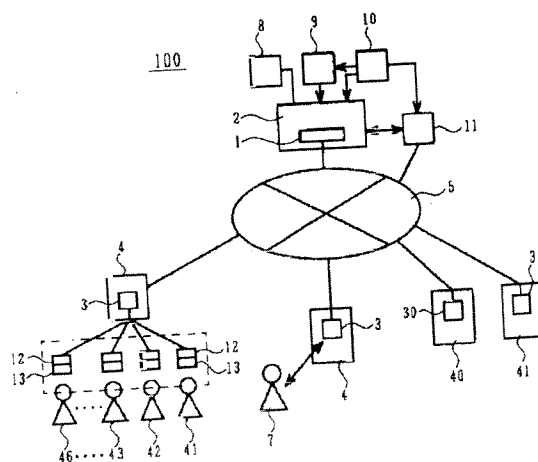
5K025 BB10 DD05 EE09

(54) 【発明の名称】 通訳サービスシステム、通訳サービス方法及び通訳サービスプログラム

(57) 【要約】

【課題】 場所や時間の制限がなく、簡易で即時性のあ
る通訳サービスシステム或いは通訳サービスの方法を提
供する。

【解決手段】 第1の言語による入力情報を指定された
第2の言語に翻訳するか或いはその逆の翻訳を行う通訳
サービスを提供する事業体2と、通訳サービスを受ける
事を希望するユーザー4とが、通信回線5を介して互い
に接続可能に配置された通信システムに於いて、ユーザ
ー4は、事業体2にアクセスして通訳を希望する翻訳必
要情報を事業体2に送信し、事業体2は、ユーザー4から
の翻訳必要情報を、短時間内でユーザー4が指定する第
2の言語に翻訳して、ユーザー4の所有する通信情報端
末3に通信回線5を介して翻訳情報を配信し、ユーザー
4は、配信された翻訳情報を、自らの通信情報端末3を
第2の言語を理解する第三者7に利用させて翻訳情報を
聴取させる様に構成されている通訳サービスシステム1
00。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか或いはその逆の翻訳を行い出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該ユーザーは、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする事によって、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの翻訳必要情報を当該通信情報端末を介して送信し、当該事業体は、当該ユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該ユーザーが指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳して、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信し、当該ユーザーは、当該事業体から配信された翻訳情報を、自ら当該通信情報端末から聴取するか、当該通信情報端末を当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第3者に利用させて当該翻訳情報を聴取させる様に構成されている事を特徴とする通訳サービスシステム。

【請求項2】 当該ユーザー以外の第3者が、当該ユーザーから使用を許可された、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末から、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第2の言語の少なくとも一つによる単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を、当該通信情報端末を介して送信し、当該事業体は、当該第3者から入力された情報を、短時間内に、当該ユーザーが指定する当該第1の言語に翻訳して、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信し、当該ユーザーは、当該事業体から配信された翻訳情報を、自ら当該通信情報端末から聴取する構成が付加されている事を特徴とする請求項1記載の通訳サービスシステム。

【請求項3】 通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか或いはその逆の翻訳を行って出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該ユーザーは、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする事によって、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報

端末を介して送信し、当該事業体は、当該ユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該ユーザーが指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳して、予め当該通信回線に接続されている、当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第3者が所有するか、当該ユーザーから貸与されている通信情報端末に、当該通信回線を介して当該第2の言語に翻訳された翻訳情報を配信し、当該第3者に当該翻訳情報を聴取させる様に構成されている事を特徴とする通訳サービスシステム。

【請求項4】 当該事業体から、当該ユーザーの通信情報端末に配信されてきた当該翻訳情報は、当該ユーザーの当該通信情報端末から分岐させた複数の音声再生手段を介して、複数の当該第3者に聴取可能となる様に構成されている事を特徴とする請求項1記載の通訳サービスシステム。

【請求項5】 当該事業体が、当該第3者が通訳を希望する当該第2の言語の少なくとも一つによる単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を、当該ユーザーが指定する当該第1の言語に翻訳した翻訳情報を、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信した場合に、当該翻訳情報は、当該ユーザーの当該通信情報端末から分岐させた複数の音声再生手段を介して、複数の当該ユーザーを含む他の第3者にも聴取可能となる様に構成されている事を特徴とする請求項2記載の通訳サービスシステム。

【請求項6】 当該事業体は、少なくとも2種類の言語間の相互翻訳が可能なオペレータを常時配備している事を特徴とする請求項1乃至5の何れかに記載の通訳サービスシステム。

【請求項7】 当該事業体は、当該通訳サービスを提供するに際して、当該ユーザーに対して会員制を採用に、当該事業体と個々のユーザーとの間で予め定められた条件を満たすユーザーを会員として登録し、当該会員であるユーザーに対して当該通訳サービスを提供する様に構成されている事を特徴とする請求項1乃至6の何れかに記載の通訳サービスシステム。

【請求項8】 当該第3者が、当該登録された会員である事を特徴とする請求項7に記載の通訳サービスシステム。

【請求項9】 当該事業体は、当該登録されたユーザーに対して、当該通訳サービスを提供するに際して、予め定められた所定の料金を課金する課金システムを有している事を特徴とする請求項1乃至8の何れかに記載の通訳サービスシステム。

【請求項10】 当該個々のユーザーに課金される当該通訳サービス料金は、当該通訳サービスの利用時間に基づいて決定される事を特徴とする請求項9に記載の通訳サービスシステム。

【請求項11】 当該個々のユーザーに課金される当該通訳サービス料金は、当該ユーザーが、会員として登録されていない第三者の通信情報端末を利用する場合に、別途定めた利用料金が加算される様に構成されている事を特徴とする請求項10記載の通訳サービスシステム。

【請求項12】 当該通信回線は、有線若しくは無線による電話回線網或いは、CATV網若しくはインターネットを含んでいる事を特徴とする請求項1乃至11の何れかに記載の通訳サービスシステム。

【請求項13】 当該事業体は、自己が所有するか、自己が管理するアプリケーション・サービス・プロバイダ(ASP)を介して当該通信回線に電氣的に接続されている事を特徴とする請求項1乃至12の何れかに記載の通訳サービスシステム。

【請求項14】 当該事業体が所有する当該情報端末は、当該アプリケーション・サービス・プロバイダ(ASP)を含んでいるサーバ機能を有する事を特徴とする請求項4記載の自費出版システム。

【請求項15】 当該ユーザーが所有する情報端末は携帯型電話、モバイル型ノートパソコン、PDA、デスクトップ型パソコン及び通信機能を有するゲーム端末等から選択された少なくとも一つで構成されている事を特徴とする請求項1乃至14の何れかに記載の通訳サービスシステム。

【請求項16】 通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか或いはその逆の翻訳を行い出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該ユーザー側通信情報端末に、複数の分岐路された個別の音声情報入力手段と翻訳情報出力手段とが設けられており、当該個別の音声情報入力手段を介して、当該ユーザーを含む複数のユーザー側出席者の一人が、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする事によって、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信し、当該事業体は、当該ユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該ユーザーが指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳して、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信し、当該ユーザーを含む複数のユーザー側出席者の内で当該第2の言語を理解する当該出席者が当該翻訳情報を聴取出来る様に構成されていると共に、当該第2の言語を理解する当該出席者の少なくとも

も一人が、当該個別の音声情報入力手段を介して、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信し、当該事業体は、当該第2の言語を理解する当該出席者から入力された情報を、短時間内に、当該第1の言語に翻訳して、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信し、当該ユーザーを含むユーザー側の出席者が当該翻訳情報を聴取する様に構成されている事を特徴とする通訳サービスシステム。

【請求項17】 当該翻訳情報を当該通信回線を介して当該事業体から当該ユーザーが所有する通信情報端末若しくは、ユーザーが所有するかユーザー以外の第三者が所有する通信情報端末に音声による翻訳情報を配信する際に、当該翻訳情報に対応する画像情報を同時に配信する様に構成されている事を特徴とする請求項1乃至16の何れかに記載の通訳サービスシステム。

【請求項18】 通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか、或いはその逆の翻訳を出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該ユーザーは、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該ユーザーが、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該ユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該ユーザーが指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該ユーザーは、当該通信情報端末を当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第三者に手渡す工程、及び、当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第三者が当該事業体から配信された翻訳情報を、聴取する工程、とから構成されている事を特徴とする通訳サービス方法。

【請求項19】 通信機能を有する情報端末を有し、所定の第2の言語による入力情報を、指定された第2の言語とは異なる他の言語である第1の言語に翻訳して出力するか、或いはその逆の翻訳を行い出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第

3者が、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該第3者が、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該第3者から入力された情報を、短時間内に、当該第3者が指定する当該第1の言語に翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該第3者は、当該第3者が使用している当該ユーザーの所有である通信情報端末を当該ユーザーに返却する工程、及び、当該ユーザーが当該事業体から配信された翻訳情報を、聴取する工程、とから構成されている事の特徴とする通訳サービス方法。

【請求項20】 通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して当該翻訳情報を出力するか或いはその逆の翻訳を行って当該翻訳情報を出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望している当該第1の言語を理解する第1のユーザーと当該第2の言語を理解する第2のユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該第1若しくは第2のユーザーは、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該第1若しくは第2のユーザーは当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1若しくは第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該第1若しくは第2のユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該第1若しくは第2のユーザーが指定する当該第2の言語若しくは第1の言語に翻訳する工程、当該事業体が、当該翻訳情報を当該第2のユーザー若しくは当該第1のユーザーが所有する当該通信回線に接続されている個々の通信情報端末に、当該通信回線を介して当該第2の言語若しくは当該第1の言語に翻訳された翻訳情報を配信する工程、当該翻訳情報の配信を受けた当該一方のユーザーが当該翻訳情報を聴取する工程とから構成されている事の特徴とする通訳サービス方法。

【請求項21】 通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか或いはその逆の翻訳を行い出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、

当該ユーザー側通信情報端末に、複数の分岐路された個別の音声情報入力手段と翻訳情報出力手段とを設ける工程、当該個別の音声情報入力手段を介して、当該ユーザーを含む複数のユーザー側出席者の一人が、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該ユーザー側出席者の一人が、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該ユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該ユーザーが指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該ユーザーを含む複数のユーザー側出席者の内で当該第2の言語を理解する当該出席者が、当該翻訳情報を聴取する工程、当該第2の言語を理解する当該出席者の少なくとも一人が、当該個別の音声情報入力手段を介して、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該第2の言語を理解する当該出席者から入力された情報を、短時間内に、当該第1の言語に翻訳する工程、当該事業体が、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該ユーザーを含むユーザー側の出席者が当該翻訳情報を聴取する工程、とから構成されている事の特徴とする通訳サービス方法。

【請求項22】 通信機能を有する情報端末を有し、所定の第2の言語による入力情報を、指定された第2の言語とは異なる他の言語である第1の言語に翻訳して出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第3者が、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該第3者が、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該第3者から入力された情報を、短時間内に、当該第3者が指定する当該第1の言語に翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該第3者は、当該第3者が所有する当該ユーザーの所有である通信情報端末を当該ユーザーに返却する工程、及び、当該ユーザーが当該事業体から配信された翻訳情報を、聴取する工程、とから構成されている通訳サービス方法をコンピュータに実行させる為のプログラム

ム。

【請求項23】 通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して当該翻訳情報を出力するか或いはその逆の翻訳を行って当該翻訳情報を出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望している当該第1の言語を理解する第1のユーザーと当該第2の言語を理解する第2のユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該第1若しくは第2のユーザーは、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該第1若しくは第2のユーザーは当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1若しくは第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該第1若しくは第2のユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該第1若しくは第2のユーザーが指定する当該第2の言語若しくは第1の言語に翻訳する工程、当該事業体は、当該翻訳情報を当該第2のユーザー若しくは当該第1のユーザーが所有する当該通信回線に接続されている通信情報端末に、当該通信回線を介して当該第2の言語若しくは当該第1の言語に翻訳された翻訳情報を配信する工程、とから構成されている通訳サービス方法をコンピュータに実行させる為のプログラム。

【請求項24】 通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか或いはその逆の翻訳を行い出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該ユーザー側通信情報端末に、複数の分岐路された個別の音声情報入力手段と翻訳情報出力手段とを設ける工程、当該個別の音声情報入力手段を介して、当該ユーザーを含む複数のユーザー側出席者の一人が、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該ユーザー側出席者の一人が、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該ユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該ユーザーが指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該ユーザーを含む複数のユ

ーザー側出席者の内で当該第2の言語を理解する当該出席者が、当該翻訳情報を聴取する工程、当該第2の言語を理解する当該出席者の少なくとも一人が、当該個別の音声情報入力手段を介して、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該第2の言語を理解する当該出席者から入力された情報を、短時間内に、当該第1の言語に翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該ユーザーを含むユーザー側の出席者が当該翻訳情報を聴取する工程、とから構成されている通訳サービス方法をコンピュータに実行させる為のプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、通訳サービスシステム及び通訳サービス方法に関し、特に詳しくは、通信回線例えばインターネットを介して、ユーザーが使用している携帯電話等を使用して、通訳サービスを実行する通訳サービスシステム及び通訳サービス方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来に於いては、例えば、英語に不自由な日本人と日本語に不自由な外国人とが、一緒に生活する場合、或いはたまたま旅行中に或いは町中で出会った当該日本人と外国人とが、コミュニケーションを計りたいとした場合に、互いに自分の考えを相手方に正確に伝えたいと希望する場合が頻繁に発生する事がある。

【0003】その際には、片言の言葉と手振り等でその伝えたい情報の内容を相手に伝えたり、辞書或いは携帯式の翻訳器等を使用して日本語に対応する英語が何であるかを確認して、コミュニケーションを計かるとか、辞書或いは翻訳器に表示された英文を相手方に見せる事によってコミュニケーションを計かると言う方法が良く採られている。

【0004】然しながら、かかる方法では、簡単な単語の羅列程度の会話であれば何とかコミュニケーションが計れるとしても、複雑な内容、微妙な言い回しを相手方に確実に伝える事は不可能であり、相互に誤解も生ずる場合も少なくなかった。

【0005】まして常時英語に堪能な人と一緒にいる機会の少ない人にとっては、頭の痛い問題で有った。

【0006】このような問題は、英語を話す外国人にとっても日本人と即時にコミュニケーションが必要な場合には、当てはまる事であると同時に、日本人と英語を話す外国人間の問題に止まらず、ドイツ人と日本人、ドイツ人と韓国人、米国人とロシア人と云々異なる言語を使用する外国人同志の間で常問題となるのであり、従来は、簡便で即時性を有する通訳サービスを提供するツ

ール、システムがなく、その開発、実現が要望されていた。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】従って、本発明の目的は、上記した従来技術の欠点を改良し、場所や時間の制限がなく、簡易で即時性のある通訳サービスシステム或いは通訳サービスの方法を提供するものである。

【0008】

【課題を解決する手段】本発明は上記した目的を達成するため、基本的には、以下に記載されたような技術構成を採用するものである。即ち、本発明に係る第1の態様としては、通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか或いはその逆の翻訳を行い出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該ユーザーは、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする事によって、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信し、当該事業体は、当該ユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該ユーザーが指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳して、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信し、当該ユーザーは、当該事業体から配信された翻訳情報を、自ら当該通信情報端末から聴取するか、当該通信情報端末を当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第三者に利用させて当該翻訳情報を聴取させる様に構成されている通訳サービスシステムであり、又、本発明に於ける第2の態様としては、通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか、或いはその逆の翻訳を出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該ユーザーは、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該ユーザーが、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該ユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該ユーザーが指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少

なくとも一つに翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該ユーザーは、当該通信情報端末を当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第三者に手渡す工程、及び、当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第三者が当該事業体から配信された翻訳情報を、聴取する工程、とから構成されている通訳サービス方法である。

【0009】

【発明の実施の形態】即ち、本発明にかかる通訳サービスシステム及び通訳サービス方法は、基本的には、上記した様な技術構成を採用している事から、例えば日本人のユーザーが、英語を話す外国人とのコミュニケーションを図る際に、相手方に伝えたい日本語での単語、文章、或いは会話内容等の翻訳必要情報を、当該ユーザーが所有する情報端末を使用して電話回線或いはインターネット等の通信ネットワークを介して、通訳サービスを行う事業体にアクセスし、その日本語での翻訳必要情報を当該事業体に伝えと、当該事業体では、当該2カ国語の相互翻訳に堪能なオペレーターが、瞬時、即時、或いは所定の短時間内に、日本語から英語に翻訳して、その翻訳情報を電話回線或いはインターネット等の通信ネットワークを介して、当該ユーザーの所有する情報端末に配信する様にシステムが組まれているので、予め、当該日本人のユーザーが、自己の所有する当該情報端末を当該外国人に手渡しておき、当該外国人に当該翻訳情報を聴取させる事によって、当該日本人のユーザーが、当該外国人に伝えたい内容が英語に翻訳されて当該外国人に伝達される事になり、即時性のある通訳が実行される。

【0010】

【実施例】以下に、本発明にかかる当該通訳サービスシステム及び通訳サービス方法の具体例の構成を図面を参照しながら詳細に説明する。

【0011】即ち、図1は、本発明にかかる通訳サービスシステムの一具体的構成を示すブロックダイアグラムであって、図中、通信機能を有する情報端末1を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数の第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか或いはその逆の翻訳を行い出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体2と、通信機能を有する通信情報端末3を有し、当該事業体2から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザー4とが、適宜の通信回線5を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該ユーザー4は、当該事業体2に当該通信回線5を介してアクセスする事によって、当該事業体2に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの翻訳必要情報を当該通信情報端末3を介して送信し、当該事業体2

は、当該ユーザー4から入力された翻訳必要情報を、短時間内に、当該ユーザー4が指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳して、当該ユーザー4が所有する当該通信情報端末3に当該通信回線5を介して当該翻訳情報を配信し、当該ユーザー4は、当該事業体2から配信された翻訳情報を、自ら当該通信情報端末3から聴取するか、当該通信情報端末3を当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第3者7に利用させて当該翻訳情報を聴取させる様に構成されている通訳サービスシステム100が示されている。

【0012】尚、図1中、8はオペレーターを示し、9は、当該通訳サービスシステムを実行するに必要なソフトウェアを含むアプリケーションソフトウェアを格納するソフトウェア格納手段であり、10は、当該事業体の当該通訳サービスを実行する為の演算制御手段をそれぞれ示す。

【0013】又、本発明に於ける本具体例に於いては、当該ユーザー以外の第3者7が、当該ユーザー4から使用を許可された、当該ユーザー4が所有する当該通信情報端末3から、当該事業体2に対して、通訳を希望する当該第2の言語の少なくとも一つによる単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの翻訳必要情報を、当該通信情報端末3を介して送信し、当該事業体2は、当該第3者7から入力された翻訳情報を、短時間内に、当該ユーザー4が指定する当該第1の言語に翻訳して、当該ユーザー4が所有する当該通信情報端末3に当該通信回線5を介して当該翻訳情報を配信し、当該ユーザー4は、当該事業体2から配信された翻訳情報を、自ら当該通信情報端末3から聴取する構成が付加されている事も好ましい具体例である。

【0014】本発明に於いては、当該事業体は、コールセンターとして機能するものであって、ユーザーが通訳を希望する日本語（例えば第1の言語）以外の外国語（第2の言語）への翻訳が堪能なオペレーターを配置しておき、当該ユーザーからの勇躍依頼に対応する様にすることで、少なくとも2種類の言語間の相互翻訳が可能なオペレーターを常時配備している事が必要となる。

【0015】勿論、当該オペレーターは、当該ユーザーからの翻訳依頼のみではなく、当該ユーザーがコミュニケーションしたい外国人からの翻訳要請つまり逆通訳依頼に対しても対応出来る様な能力を有している事が望ましい。

【0016】又、本発明に於いては、日本語と英語間の翻訳或いは通訳のみに限らず、英語とドイツ語、フランス語と中国語、韓国語と日本語、ロシア語とイタリア語と言うように、異なる言語間の翻訳、通訳を行えるオペレーターを配備する事が望ましい。

【0017】更に、当該事業体は、日本国内に設置されている必要はなく、特にインターネットを利用する場合

には、当該事業体は、世界中の何処に存在していても良く、それによって、時差の問題を解決する事が出来る。

【0018】又、当該事業体は、1か所に限定されるものでもなく、世界中に複数箇所設置しておき、常時相互にリンクさせておく事によって、当該オペレーターは、任意の事業体から対応する事が可能である。

【0019】本発明に於いては、後述する様に、会議に於ける同時通訳的な使用態様も可能であり、その場合には、複数の異なる言語間の相互翻訳、相互通訳を行う事も可能であり、その為には、複数のオペレーターが同時に当該ユーザーの主催する会議の接続される通信情報端末にコンタクトする事になる。

【0020】本発明に於いて使用される当該通信回線5は、有線若しくは無線による電話回線網或いは、CATV網或いはインターネットを含んでいる事が望ましく、特にインターネットを使用する場合には、世界的規模での通訳サービスシステムが構築出来る事になる。

【0021】本発明に於ける当該事業体2は、自己が所有するか、自己が管理するサーバ機能を有するアプリケーション・サービス・プロバイダ(ASP)1を介して当該通信回線5に電氣的に接続されている事が好ましい。

【0022】一方、本発明に於ける当該ユーザー4が所有する通信情報端末3は、通常の電話の他に、PHS、携帯型電話、モバイル型ノートパソコン、PDA、デスクトップ型パソコン及び通信機能を有するゲーム端末等から選択された少なくとも一つで構成されている事が望ましく、特にPHS、携帯型電話、モバイル型ノートパソコン、PDA等を使用する場合には、時間的な制約、場所的な制約を受けることなく、如何なる場所でも、如何なる時間でも容易に当該通訳サービスを受ける事が可能である。

【0023】つまり、本発明に於いては、当該事業体2のコールセンターに、所定の異なる言語間の翻訳を行う事が出来る通訳者、つまりオペレーターを常時待機させ、ユーザー4からの通訳要請に24時間対応する様にするものである。

【0024】本発明に於いては、当該ユーザーからの或いは第3者からの当該事業体2に対する通訳依頼に対しては、音声による翻訳情報を当該通信回線5を介して当該ユーザー又は当該第3者に対して配信すると同時に、当該翻訳情報を画像画像情報、動画情報として配信する事も可能であり、目視によるコミュニケーションも可能となる。

【0025】つまり、本具体例に於いては、当該翻訳情報を当該通信回線5を介して当該事業体2から当該ユーザー4が所有する通信情報端末3若しくは、ユーザーが所有するかユーザー以外の第3者が所有する通信情報端末30に音声による翻訳情報を配信する際に、当該翻訳情報に対応する画像情報を同時に配信する様に構成する

ものである。

【0026】具体的には、ユーザーが電話、携帯電話を使用して当該通訳サービスシステムを利用する場合で、ユーザーが外出先にて通訳が必要となった場合には、当該事業体であるコールセンタにアクセスして適宜母国語による必要な通訳サービス（母国語—主要言語）を受け取る。

【0027】例えば、日本に滞在中のユーザーである外国人が、母国語と日本語との通訳を必要としたとき、電話または携帯電話等からコールセンターに連絡し、当該事業体2のオペレーターに必要通訳事項を伝え、オペレーターは本人に代行して、電話または携帯電話にて必要事項をユーザーの会話相手に伝える。あるいは、会話相手からの返答を顧客に伝える様な態様が可能であり、又、他の態様としては、日本にて、ユーザーである日本人が外国人とのコミュニケーションの必要性が生じた場合、携帯電話、電話等からコールセンターに連絡し、当該事業体のオペレーターに必要通訳事項を伝え、オペレーターは本人に代行して、必要事項を当該ユーザーの会話相手（外国人）に伝える。または、オペレーターは、必要事項を当該ユーザーの会話相手に伝えるための言語アドバイスを提供する。

【0028】又、別の態様としては、外国に滞在中の日本人が、日本語と主要外国語との通訳を必要としたとき、携帯電話、電話等からコールセンターに連絡し、当該事業体のオペレーターに必要通訳事項を伝え、オペレーターは本人に代行して、必要事項を当該ユーザーの会話相手に伝える。または、オペレーターは、必要事項を当該ユーザーの会話相手に伝えるための言語アドバイスを提供する。

【0029】更に、本発明に於ける別の具体例として、携帯電話を有する第1の言語を使用するユーザーと、同様に携帯電話を有する他の言語を使用する他のユーザーとの間で当該通信回線を使用して2者間通話が行われる際に通訳が必要となった際、当該事業体2を含めた3者間通話に切り替え、当該事業体のコールセンターが常に、当該ユーザー間の会話に介入して同時通訳的に一方のユーザーの会話を翻訳して他のユーザーに配信する事も可能である。

【0030】又、本発明に於ける当該通訳サービスシステムの更に別の具体例としては、ユーザーの自宅或いはオフィス等で、多数の他のユーザー或いは外国人を含む関係者が集合して国際的な会議、パーティー等を開催する場合に於いて、上記した様な通訳サービスが必要となった際、同様にコールセンターに連絡、オペレーターに通訳を依頼する事によって、従来の様な、通訳の派遣を要請する必要がなくなる。

【0031】特に、国際的な会議の場合には、当該ユーザーの所有する通信情報端末3に於ける送信手段及び受信手段を複数に分岐させて、一つの回線を使用して当該

事業体と当該通信回線を介して接続させておき、通訳が必要となった際、コールセンターより、一人或いは複数の通訳者であるオペレーターに当該通信回線或いはインターネット経由で会議に参加してもらう様にすることで、複数の言語を使用する会議等でも通訳処理が容易に且つ同時通訳的に実行しえる。

【0032】本発明に於いては、当該事業体2は、当該通訳サービスを提供するに際して、当該ユーザー4に対して会員制を採用に、当該事業体2と個々のユーザー4との間で、入会費、各個別の通訳サービス料金、当該通訳サービスに対する支払い条件等を含む、予め定められた条件を満たすユーザーを会員として登録し、当該会員であるユーザーに対して当該通訳サービスを提供する様に構成されている事が望ましい。

【0033】本発明に於ける当該事業体2が当該通訳サービスを実行するに際しては、予め定められた会員に対して優先的に当該サービスを提供する様にすることが、当該事業体として、所定のユーザーに対して提供した通訳サービスに対して必要な費用を確実に課金システムを介して回収出来るという利点があるが、勿論当該事業体は、本発明にかかる通訳サービスを会員以外のユーザーに対しても提供する事も可能であるが、当該サービスを実行する以前に、所定の料金支払いに関する課金システムの条件を当該ユーザーが満たしているか否かを事前に調査する必要がある（例えば、当該ユーザーの指定する銀行口座或いはクレジットカード番号が正しいか等）ので、瞬時の通訳サービスを提供する事が難しい。

【0034】又、本発明に於いては、同様に当該ユーザーと外国人の双方が、会員として登録されている場合、或いは当該外国人が使用している通信情報端末が、別の会員であるユーザーの所有であるものであれば、上記の問題は無い。

【0035】つまり、当該外国人である第3者が、当該登録された会員であるユーザーである事が望ましい。

【0036】上記した様に、本発明に於いては、当該事業体2は、当該登録されたユーザー4に対して、当該通訳サービスを提供するに際して、予め定められた所定の料金を課金する課金システム11を有している事が望ましく、又、当該個々のユーザー4に課金される当該通訳サービス料金は、例えば、当該通訳サービスの利用時間に基づいて決定される事が一例として考えられる。

【0037】更に、当該個々のユーザー4に課金される当該通訳サービス料金は、当該ユーザー4が、外国人が所有している通信情報端末であって、会員として登録されていない第3者の通信情報端末を利用する場合には、別途定めた利用料金が加算される様に構成されていても良い。

【0038】その際の通訳サービス料金は、当該会員であるユーザーに対する料金より高く設定されるものである。

【0039】本発明に係る当該通訳サービスシステム100の第2の具体例に付いて以下に説明する。

【0040】即ち、本具体例では、図1に示す様に、通信機能を有する情報端末1を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか或いはその逆の翻訳を行って出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体2と、通信機能を有する情報端末30を有し、当該事業体2から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザー40とが、適宜の通信回線5を介して互いに接続可能に配置されている通信システム100に於いて、当該ユーザー40は、当該事業体2に当該通信回線5を介してアクセスする事によって、当該事業体2に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの翻訳情報を当該通信情報端末5を介して送信し、当該事業体2は、当該ユーザー40から入力された情報を、短時間内に、当該ユーザー40が指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳して、予め当該通信回線5に接続されている、当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第3者41が所有するか、当該ユーザー40から貸与されている通信情報端末31に、当該通信回線5を介して当該第2の言語に翻訳された翻訳情報を配信し、当該第3者41に当該翻訳情報を聴取させる様に構成されている通訳サービスシステム100である。

【0041】係る形態の通訳サービスシステムに於いては、当該ユーザー40と当該外国人41との間に当該事業体2が介在して3者間通信を構成することになる。

【0042】又、本発明に係る当該通訳サービスシステムの更に他の具体例としては、当該事業体2から、当該ユーザー4の通信情報端末3に配信されてきた当該翻訳情報は、当該ユーザー4の当該通信情報端末3から分岐させた複数の音声再生手段12を介して、複数の当該第3者42~46の少なくとも一部に聴取可能となる様に構成されているものであると同時に、その反対の通訳サービスとして、当該事業体2が、当該第3者42~46に含まれる一人の外国人が、通訳を希望する当該第2の言語の少なくとも一つによる単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を、当該ユーザー3、若しくは複数の当該第3者42~46の一部が指定する当該第1の言語に翻訳した翻訳情報を、当該ユーザー4が所有する当該通信情報端末3に当該通信回線5を介して当該翻訳情報を配信した場合に、当該翻訳情報は、当該ユーザー4の当該通信情報端末3から分岐させた複数の音声再生手段13を介して、複数の当該ユーザーを含む他の第3者にも聴取可能となる様に構成されているものである。

【0043】つまり、本具体例は、所定のユーザーが複

数の出席者との間で国際会議を行う場合を想定したものである。

【0044】つまり、上記具体例の構成としては、通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか或いはその逆の翻訳を行い出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システム100に於いて、当該ユーザー側通信情報端末に、複数の分岐された個別の音声情報入力手段12と翻訳情報出力手段13とが設けられており、当該個別の音声情報入力手段12を介して、当該ユーザーを含む複数のユーザー側出席者の一人が、当該事業体2に当該通信回線5を介してアクセスする事によって、当該事業体2に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末5を介して送信し、当該事業体2は、当該ユーザー4から入力された情報を、短時間内に、当該ユーザー4が指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳して、当該ユーザー4が所有する当該通信情報端末3に当該通信回線5を介して当該翻訳情報を配信し、当該ユーザーを含む複数のユーザー側出席者の内で当該第2の言語を理解する当該出席者が、当該翻訳情報出力手段13を介して当該翻訳情報を聴取出来る様に構成されていると共に、当該第2の言語を理解する当該出席者の少なくとも一人が、当該個別の音声情報入力手段12を介して、当該事業体2に対して、通訳を希望する当該第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信し、当該事業体2は、当該第2の言語を理解する当該出席者から入力された情報を、短時間内に、当該第1の言語に翻訳して、当該ユーザー4が所有する当該通信情報端末3に当該通信回線5を介して当該翻訳情報を配信し、当該ユーザーを含むユーザー側の出席者が当該翻訳情報出力手段13を使用して当該翻訳情報を聴取する様に構成されている通訳サービスシステムである。

【0045】本発明に於ける当該通訳サービスに係る翻訳処理に要する短時間とは、瞬時、同時通訳並み、或いは、例えば当該ユーザーが、当該事業体に対して翻訳必要情報を発信した後、当該ユーザーが所有している当該通信情報端末3を相手の外国人に手渡し、当該外国人が受信の体制をとって、受信可能な信号を当該事業体に発信する迄の間程度の時間以下である事が望ましい。

【0046】次に、本発明に係る通訳サービス方法の構成に付いて具体例を以下に説明する。

【0047】即ち、本発明に於ける当該通訳サービス方

法の第1の具体例としては、通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか、或いはその逆の翻訳を出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該ユーザーは、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該ユーザーが、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの翻訳必要情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該ユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該ユーザーが指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該ユーザーは、当該通信情報端末を当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第3者に手渡す工程、及び、当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第3者が当該事業体から配信された翻訳情報を、聴取する工程、とから構成されている通訳サービス方法である。

【0048】又、本発明に於ける上記した当該通訳サービス方法のその後の付加工程としては、上記通信システムに於いて、当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第3者が、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該第3者が、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの翻訳必要情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該第3者から入力された情報を、短時間内に、当該第3者が指定する当該第1の言語に翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該第3者は、当該第3者が使用している当該ユーザーの所有である通信情報端末を当該ユーザーに返却する工程、及び、当該ユーザーが当該事業体から配信された翻訳情報を、聴取する工程、とから構成されている通訳サービス方法である。

【0049】更に、本発明に於ける当該通訳サービス方法の第2の具体例としては、上記した通信システムに於いて、当該第1若しくは第2のユーザーが当該通信回線に接続されており、当該第1若しくは第2のユーザーが、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該第1若しくは第2のユーザーは当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1若しくは第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一

つの翻訳必要情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該第1若しくは第2のユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該第1若しくは第2のユーザーが指定する当該第2の言語若しくは第1の言語に翻訳する工程、当該事業体は、当該翻訳情報を当該第2のユーザー若しくは当該第1のユーザーが所有する当該通信回線に接続されている個々の通信情報端末に、当該通信回線を介して当該第2の言語若しくは当該第1の言語に翻訳された翻訳情報を配信する工程、当該翻訳情報の配信を受けた当該一方のユーザーが当該翻訳情報を聴取する工程とから構成されている通訳サービス方法である。

【0050】一方、本発明に於ける当該通訳サービス方法の第3の具体例としては、上記した通信システムに於いて、当該ユーザー側通信情報端末に、複数の分岐路された個別の音声情報入力手段と翻訳情報出力手段とを設ける工程、当該個別の音声情報入力手段を介して、当該ユーザーを含む複数のユーザー側出席者の一人が、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該ユーザー側出席者の一人が、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該ユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該ユーザーが指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該ユーザーを含む複数のユーザー側出席者の内で当該第2の言語を理解する当該出席者が、当該翻訳情報を聴取する工程、当該第2の言語を理解する当該出席者の少なくとも一人が、当該個別の音声情報入力手段を介して、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該第2の言語を理解する当該出席者から入力された情報を、短時間内に、当該第1の言語に翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該ユーザーを含むユーザー側の出席者が当該翻訳情報を聴取する工程、とから構成されている通訳サービス方法である。

【0051】ここで、本発明に係る当該通訳サービス方法の操作手順の例をより詳細に説明する為に、上記した第1の具体例をに於ける操作手順の一例に付いて図2を参照しながら詳細に説明する。

【0052】即ち、図2に示す様に、当該通信システム100に於いてスタート後、ステップS1に於いて日本人であるユーザーからのアクセスの有ったか否かが判断され、NOである場合には、当該ステップS1が繰り返

され、YESであると、ステップS2に進んでユーザー4が会員であるか否かが判断され、YESであれば、後述するステップS5に進み、NOであるとステップS3に進んで当該ユーザーに会員となる様催促が行われ、ステップS4に於いて当該ユーザーが必要な情報を当該事業体に提供し且つ会費を納入したか否かが判断され、NOである場合には、ENDとなりYESである場合には、ステップS5に進む。

【0053】当該ステップS5では、当該事業体が当該ユーザーへの通訳サービス提供を開始する決定が行われ、ステップS6に於いて、当該ユーザーからの日本語による通訳必要情報を当該ユーザーの指定する他の言語、例えば英語に翻訳する様に要請が当該事業体に入力され、ステップS7に於いて、当該事業体が当該通訳必要情報を英語に翻訳を行う。

【0054】その後、ステップS8に於いて、当該ユーザーが相手方である外国人に自分の使用している通信通信端末、例えば携帯電話を手渡し、ステップS9に於いて、当該事業体が当該ユーザーの携帯電話に上記の通訳情報を配信する。

【0055】次いで、ステップS10に進み、当該外国人が英語による通訳情報を聴取し、ステップS11に於いて、当該通訳サービスを終了するか否かが判断され、YESであれば、ステップS12に進んで、当該ユーザーから当該事業体に対して当該通訳サービスが終了した事を通知し、ステップS13に於いて、当該事業体が当該通訳サービスの提供を終了し、ステップS14に於いて、当該ユーザーに対し、当該ユーザーに対する通訳サービスの料金の請求が行われる。

【0056】次いでステップS15に於いて、当該課金システムを介して、当該ユーザーの銀行口座或いはクレジットカード等から当該請求金額の引き落としが完了したか否かが判断され、YESであればENDとなるが、NOである場合には、ステップS16に進んで、当該事業体から当該ユーザーに催促が行われ、ステップS17で、当該ユーザーから入金があったか否かが再度判断され、YESであればENDとなるが、NOである場合には、ステップS18で、当該催促が予め定められた回数Nか否かを判断し、NOであれば、ステップS16に戻って、上記の工程が繰り返され、YESである場合にはステップS19に於いて当該ユーザーを会員から抹消してENDとなる。一方、ステップS11でNOである場合、ステップS20に進み、当該外国人から当該事業体に対して英語による通訳必要情報が送信され、ステップS21に於いて当該事業体で、当該通訳必要情報を日本語に翻訳し、ステップS22に於いて当該外国人が使用中の携帯電話を当該ユーザーに手渡し、ステップS23に於いて当該事業体が、当該外国人の指示に従って、日本語に翻訳された当該通訳情報を当該ユーザーの所有する携帯電話に配信され、ステップS24に於いて当該通

訳情報を当該ユーザーが聴取する。

【0057】その後、ステップS25に於いて、当該通訳サービスを終了するか否かが判断され、NOであれば、ステップS6に戻って上記した各工程が繰り返され、YESである場合には、ステップS12に戻って上記した各工程が繰り返される。

【0058】他の具体例に於ける操作手順は、多少の変更部分があるが、基本的には、上記したフローチャートに沿って実行されるものである。

【0059】又、本発明に於けるその他の態様としては、通信機能を有する情報端末を有し、所定の第2の言語による入力情報を、指定された第2の言語とは異なる他の言語である第1の言語に翻訳して出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該第2の言語を理解する当該ユーザー以外の第3者が、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該第3者が、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該第3者から入力された情報を、短時間内に、当該第3者が指定する当該第1の言語に翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該通訳情報を配信する工程、当該第3者は、当該第3者が所有する当該ユーザーの所有である通信情報端末を当該ユーザーに返却する工程、及び、当該ユーザーが当該事業体から配信された通訳情報を、聴取する工程、とから構成されている通訳サービス方法をコンピュータに実行させる為のプログラムであり、又、通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して当該通訳情報を出力するか或いはその逆の翻訳を行って当該通訳情報を出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望している当該第1の言語を理解する第1のユーザーと当該第2の言語を理解する第2のユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該第1若しくは第2のユーザーは、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該第1若しくは第2のユーザーは当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1若しくは第2の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該第1若しくは第2のユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該第1若

しくは第2のユーザーが指定する当該第2の言語若しくは第1の言語に翻訳する工程、当該事業体が、当該翻訳情報を当該第2のユーザー若しくは当該第1のユーザーが所有する当該通信回線に接続されている通信情報端末に、当該通信回線を介して当該第2の言語若しくは当該第1の言語に翻訳された翻訳情報を配信する工程、とから構成されている通訳サービス方法をコンピュータに実行させる為のプログラムである。

【0060】更には、通信機能を有する情報端末を有し、所定の第1の言語による入力情報を指定された第1の言語とは異なる一つ或いは複数出力の他の言語である第2の言語群の少なくとも一つの第2の言語に翻訳して出力するか或いはその逆の翻訳を行い出力する通訳サービスを提供する事を業務とする事業体と、通信機能を有する情報端末を有し、当該事業体から通訳サービスを受ける事を希望しているユーザーとが、適宜の通信回線を介して互いに接続可能に配置されている通信システムに於いて、当該ユーザー側通信情報端末に、複数の分岐路された個別の音声情報入力手段と翻訳情報出力手段とを設ける工程、当該個別の音声情報入力手段を介して、当該ユーザーを含む複数のユーザー側出席者の一人が、当該事業体に当該通信回線を介してアクセスする工程、当該ユーザー側出席者の一人が、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第1の言語による単語、文章、会話内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該ユーザーから入力された情報を、短時間内に、当該ユーザーが指定する当該第1の言語とは異なる第2の言語の少なくとも一つに翻訳する工程、当該事業体は、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該ユーザーを含む複数のユーザー側出席者の内で当該第2の言語を理解する当該出席者が、当該翻訳情報を聴取する工程、当該第2の言語を理解する当該出席者の少なくとも一人が、当該個別の音声情報入力手段を介して、当該事業体に対して、通訳を希望する当該第2の言語による単語、文章、会話

内容等から選択された少なくとも一つの情報を当該通信情報端末を介して送信する工程、当該事業体は、当該第2の言語を理解する当該出席者から入力された情報を、短時間内に、当該第1の言語に翻訳する工程、当該事業体が、当該ユーザーが所有する当該通信情報端末に当該通信回線を介して当該翻訳情報を配信する工程、当該ユーザーを含むユーザー側の出席者が当該翻訳情報を聴取する工程、とから構成されている通訳サービス方法をコンピュータに実行させる為のプログラムである。

【0061】

【発明の効果】本発明に係る当該通訳サービスシステム及び通訳サービス方法は、上記した様な技術構成を採用している事から、場所や時間の制限がなく、簡易で即時性のある通訳サービスシステム或いは通訳サービスの方法を経済的で然かも全世界的規模で実現しえる通訳サービスシステム及び通訳サービス方法が得られる。

【図面の簡単な説明】

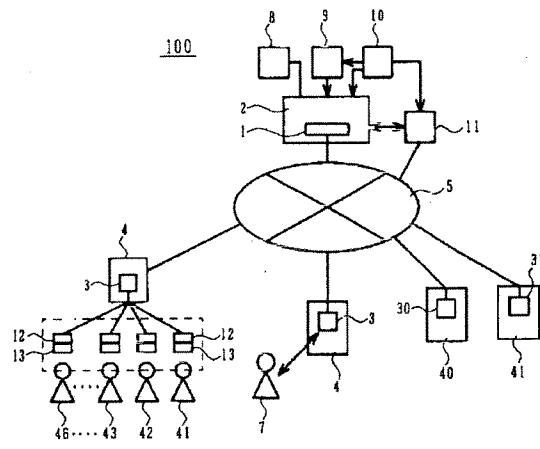
【図1】図1は、本発明に係る通訳サービスシステムの一具体例の構成を示すブロックダイアグラムである。

【図2】図2は、本発明に係る通訳サービス方法の一具体例に於ける操作手順の例を示すフローチャートである。

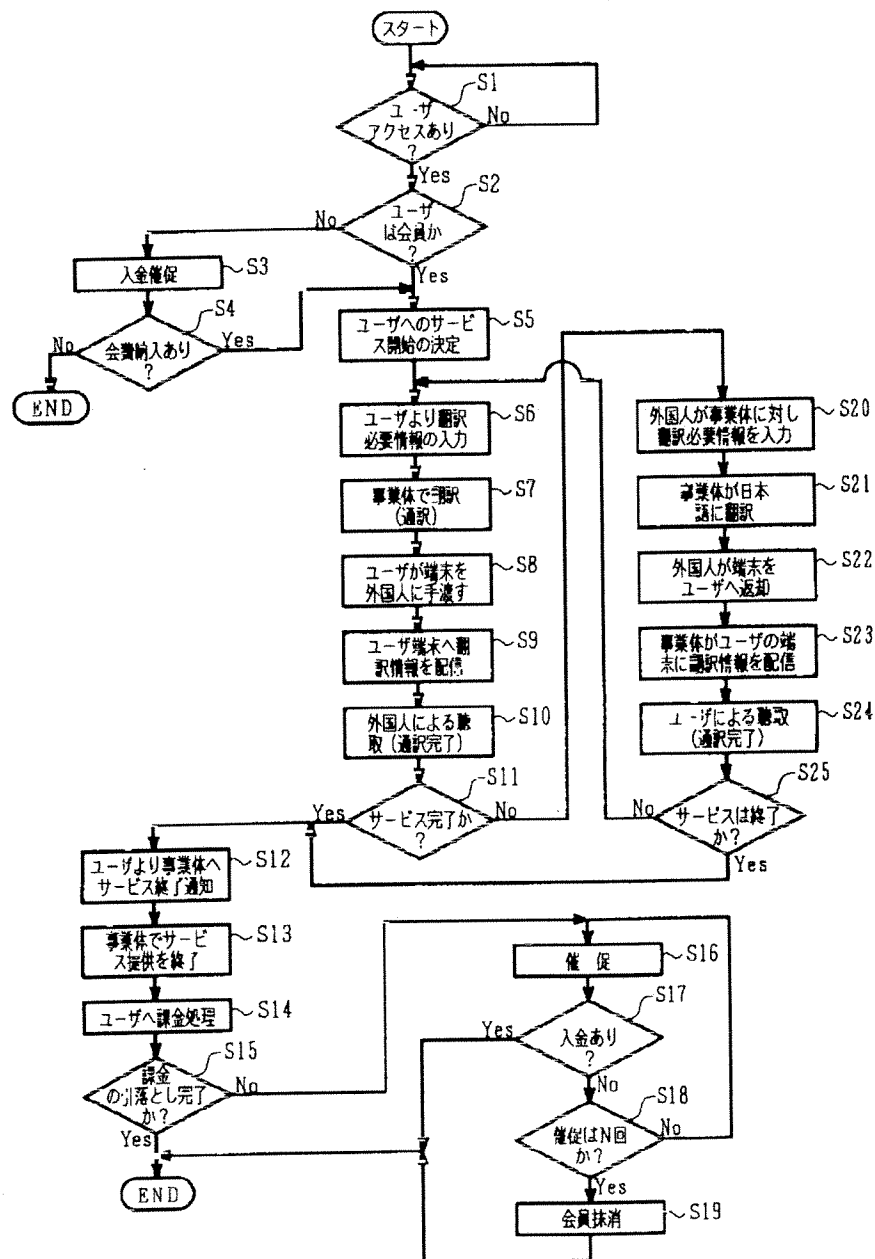
【符号の説明】

- 1、3、30、31…通信情報端末
- 2…事業体
- 4、40、41…ユーザー
- 5…通信回線
- 7…第3者、外国人
- 8…オペレーター
- 9…ソフトウェア格納手段
- 10…演算制御手段
- 11…課金システム
- 12…分岐された音声入力手段
- 13…分岐された翻訳情報受信手段
- 42～46…会議の出席者

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷
H 04 M 15/00

識別記号

F I
H 04 M 15/00

Z

(参考)